

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想概要版(やさしい版)について

1. これまでの経緯

(1) 骨子案の提案

日付：令和6年1月31日（令和5年度第2回協議会）

対象：小学4年生程度

目的：①多様な方々が情報を知る環境を構築するため

②バリアフリーを学ぶ補助教材として、市内小学校で活用するため

③市民部会と一緒に進めている心のバリアフリー教室で活用するため

委員の主な意見：

- ・ 分かりやすい版は、小学生だけではなく、いろいろな条件で難しい言葉、専門用語などが理解しづらい人のためにつくられるものだと思う。
- ・ 当事者団体や、やさしい日本語の活動をしている団体、学校の先生、子ども達など色々な人と一緒に作って行った方が良い。

(2) 素案（初校）の提案

日付：令和6年3月6日（メールで委員へ意見照会）

委員の主な意見：

- ・ デザイン・イラストに関すること
弱視の方にはグレーや赤と茶の組み合わせは見えづらい、地図記号入れては、等
- ・ 文字・言い回しに関すること
ルビの対応が不統一、やさしい版の方が適切、優しく訴える言葉にしたらどうか等

(3) 素案（再校）の提案

日付：令和6年3月27日（令和5年度第3回協議会）

委員の主な意見：

- ・ 熟語単位で漢字表記か平仮名表記か統一した方が良い。
- ・ 表現を平たく分かりやすいものに変えた方が良い。
- ・ 小学4年生を対象とすると「やさしくない」、できるだけ色々な人に分かりやすく説明して欲しい。数人で議論しながら作っていくのが良いのではないかな。

都市政策課の回答：

- ・ 小学4年生程度を対象にしたのは、心のバリアフリー教室での活用を考えているため。また、小学4年生程度の日本語は外国籍の方にも通じやすいため。
- ・ 意見を踏まえ、今後、修正案を提案し最終形としたい。

(4) その他

日付：令和6年5月30日（令和6年度第1回市民部会）

委員の主な意見：

- 知的障がい者の知的能力は8～9歳を下回る。どこに焦点を当てるか明確に。
- 全国手をつなぐ育成会連合会でもわかりやすい版を作っているので参考に。

2. 課題

- (1) 目的と対象が絞れておらず、委員の考えとも一致していない。
- (2) 現状の素案は、概要版の内容とは乖離があり、概要版のやさしい版とは言い難い。

3. 今後の方針

課題を踏まえ、以下のように目的・対象などを再設定し新たに作成する。

- (1) 目的：概要版の情報保障のため。（補助教材としての活用は目的としない）
- (2) 対象：知的障がいのある方をはじめ、その他多様な方々。
- (3) 作業方針：
 - ① 難しい表現は、やさしい日本語に変換する。
 - ② 基本構想と直接関係のない内容は削除する。
 - ③ 重複する内容は削除する。
 - ④ 彩度が高く、コントラストがはっきりした色を使用する。

4. 今後の展開

- | | | |
|-----|----------------|---------|
| (1) | 第一回協議会 修正素案の提案 | 10月24日 |
| (2) | 修正作業 | 11月 |
| (3) | 委員との意見交換 | 11月～12月 |
| (4) | 第二回協議会 案の提案 | 3月下旬 |
| (5) | 公表 | 4月 |